

ある日の育児日記から

佐藤 和代

(41)



有はもうすぐ二歳。そのわりには、言葉が進歩しません。何しろ私のことを「わんわん」と呼ぶのです。おかあさん↓おあーあん↓わーわん、ということらしいけど、ちょっとこれを外で呼ばれるとね…。お父さんは「とーあん」。いいなあ。だいたい言葉は語尾だけになります。「これ食べる?」「る」といった具合。お友だちは女の子なら「チャン」、男の子は「クン」。みんな同じ、便利ね。卵は「まご」、お月様が「つたま」、このへんはほとんど謎ときです。ところで、言葉が遅くて…と言うと、よく「心

配ないわよ」とはげまされいます。心配なんてしてないのですが、あまりたびたび「心配ない」と言われるので、どうして私心配しないのかしら、と疑問がわいてきました。二人目だから? こっちの言うことはわかるようだから? うーん、たぶん、すぐにうるさいくらいよくしゃべるようになって予想がつくから。しゃべる、というのは意志を伝えることでしょ。それなら有はもう得意。手ぶり見ぶり、表情からカタコトまで、使えるもの総動員で訴えます。こんなに言いたいことがいっぱいあるんだから、絶対話せるようになる! …私の英語学習に欠けていたのはこれね、きつと。



最近ますます、くすり姉弟です。描きわけられなくて困るの。